

平成23年度
修士・学部卒業研究発表

2012年2月21,23日

M2

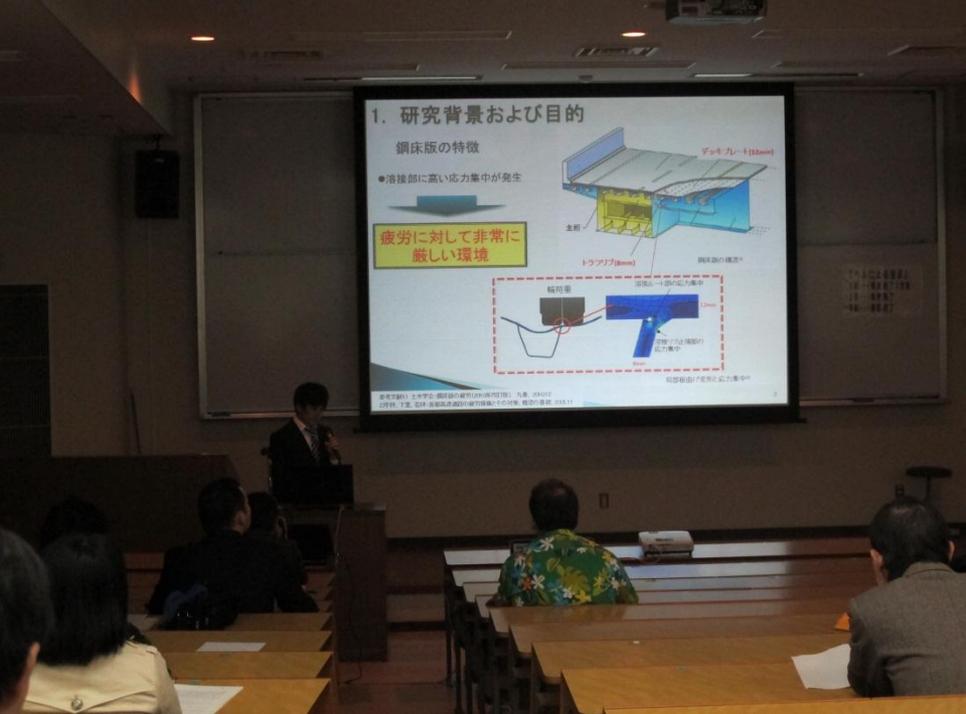
Naoto Maruyama



研究題目

『腐食劣化した高力ボルト の残存軸力計測法』

M2 Ryo Inoue



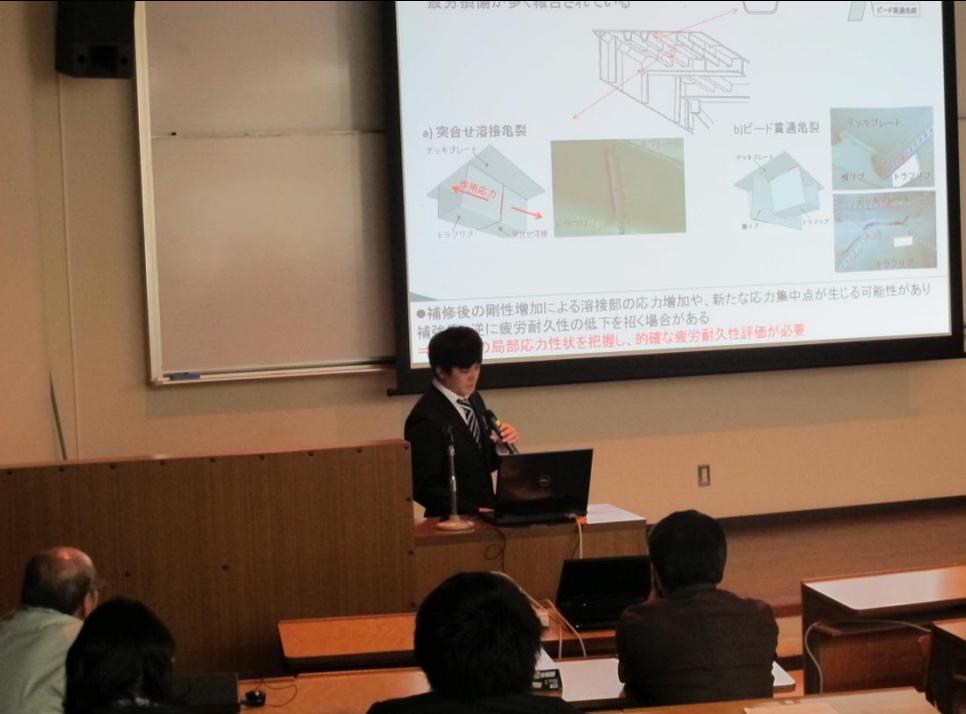
1. 研究背景および目的

鋼床版の特徴

- 溶接部に高い応力集中が発生

疲労に対して非常に厳しい環境

鋼管埋込み型鋼床版の応力集中



疲労損傷が多々報告されている

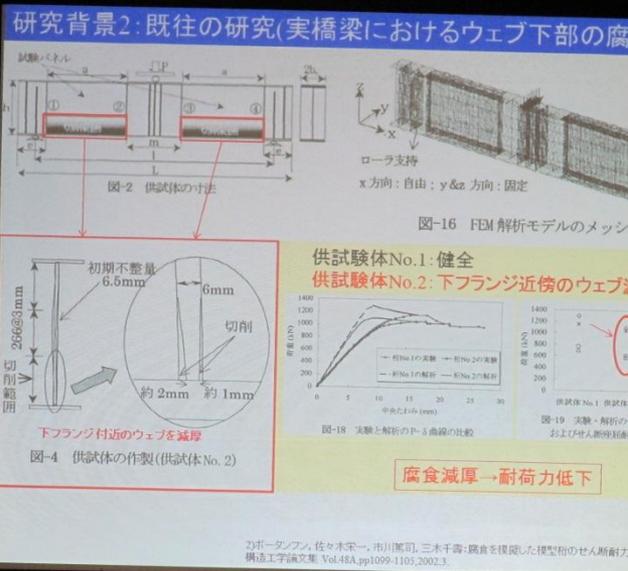
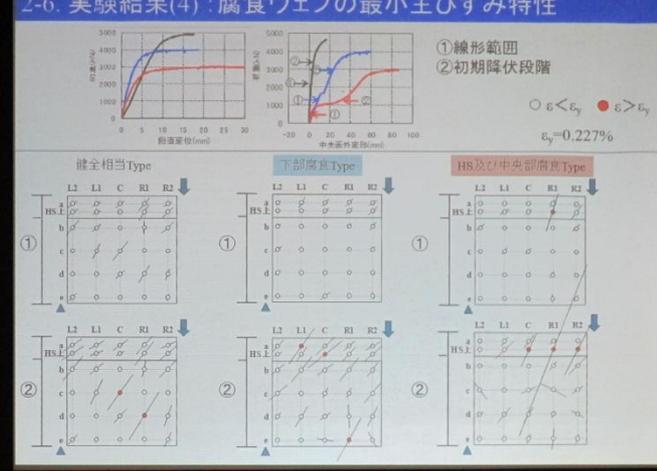
a) 突合せ溶接電裂

b) ビード貫通電裂

●補修後の剛性増加による溶接部の応力増加や、新たな応力集中点が生じる可能性があり、補修後の疲労耐性の低下を招く場合がある。局所応力性状を把握し、的確な疲労耐久性評価が必要

研究題目 『補修鋼床版における 疲労耐久性評価に関する研究』

M2 Masaki Yamada



研究題目

『腐食減厚した
プレートガーダーのウェブの
せん断耐力特性に関する研究』

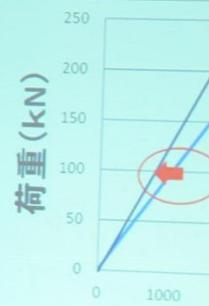
B2

Shuhei Iwayama



目的

補強材の弾性係数、強度
を作成し、以下の二つの

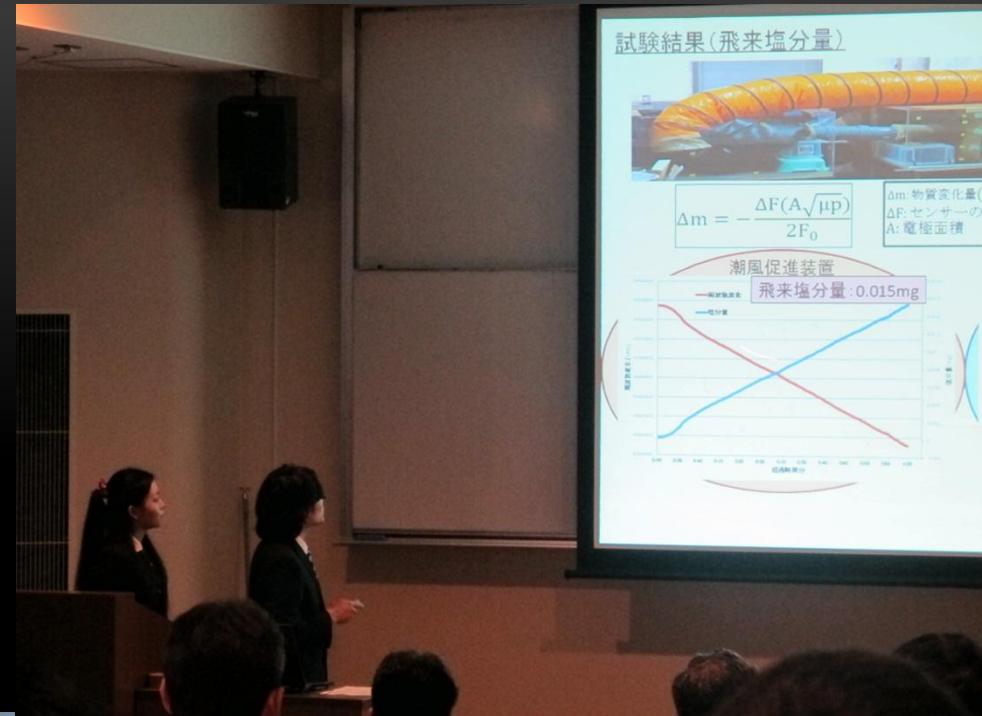


研究題目
**『補強鋼材の接着剛性効果
に関する研究』**

B2

Kousuke Tokoro

Chika Furusato



研究題目
『飛来塩分を模擬した
鋼材腐食促進実験法
に関する基礎的研究』

B2 Yuto Sashida



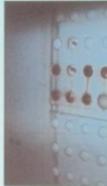
背景と目的

- ・塗装橋→塗膜劣化→錆発生→ケレン(錆除去)→再塗装
- ・再塗装後は塗膜内部に残存する錆が早期進行する

この事をふまえ、本研究では錆を残したままの簡易ケレンを行い、錆進行の抑制防止に着目した塗料について防錆性能評価を行う。



塗装後の錆発生状況
(沖縄モノレール鋼桁内のボルト腐食)

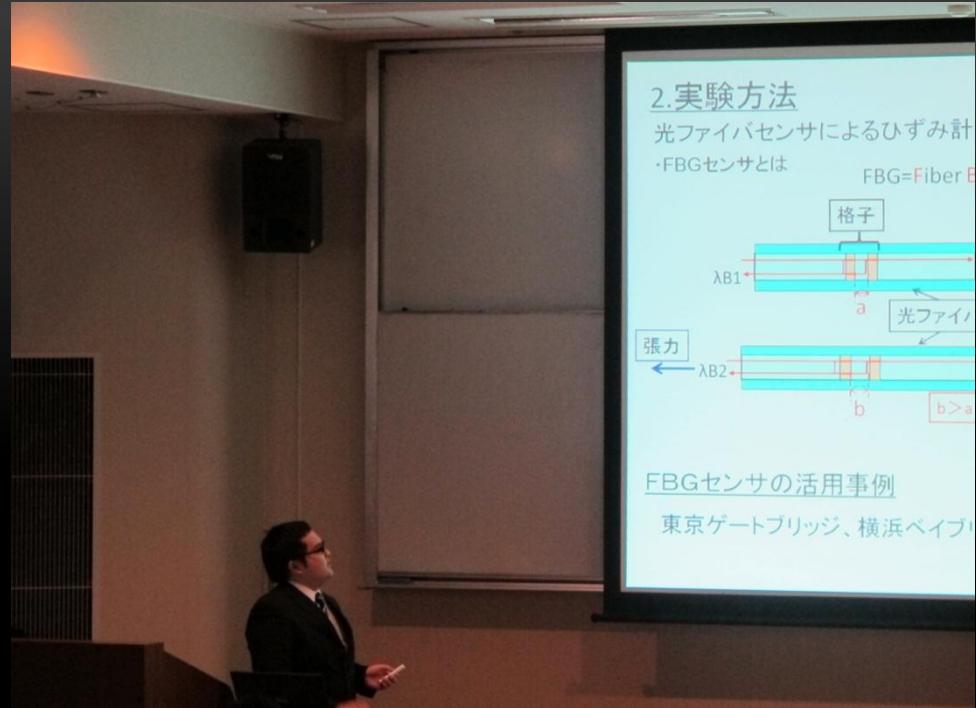


再塗装後



研究題目
『簡易ケレン鋼材における
錆発生防止材料の
防錆性能評価実験
に関する研究』

B2 Shinsaku Ishimine



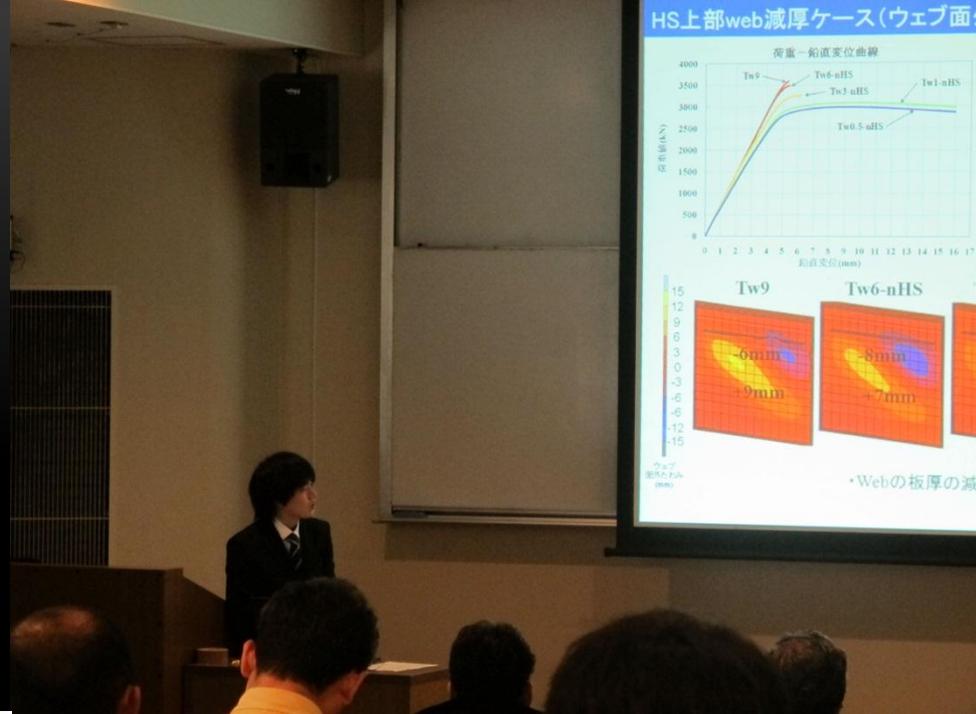
研究題目
『光ファイバセンサを用いた
塩害橋梁の異常検知
モニタリングに関する研究』

B2 Keiichi Shimabukuro



研究題目
**『腐食高力ボルトの
残存軸力評価に関する研究』**

B2 Takaaki Toshimitsu



研究題目
『腐食劣化した
鋼プレートガーダー橋の
せん断耐荷力特性
に関する解析的研究』

B2 Shinpei Fujiwara



研究題目
『塩害を模擬したRC梁に対する
補修・補強後の
性能回復確認実験』